



子どもとメディア 北海道

子どもとメディア 北海道

第30号
2017年
10月発行
今期第2号

主催：子どもとメディア関東 後援：つくば市・つくば市教育委員会
第11回 子どもとメディアを考える学習・交流会

山田真理子さん講演会 (NPO 子どもとメディア代表理事・NPO 子どもと保育研究所ふるほ所長)

「乳幼児期の発達と電子メディアの影響～乳幼児期からのスマホ依存予防と対応～」

* 9月3日、茨城県つくば市で行われた研修会に、参加してきました。

午前は、以下くわしく紹介をする山田先生の「乳幼児期からのスマホ依存予防と対応」。午後は、神山 潤 医師(東京ベイ・浦安市川医療センターCEO、子どもの早起きをすすめる会発起人)の「子どもの発達と生活リズム～眠りは脳とこころの栄養素～」。

*参加者は、地元の保健師さんや保育士さんが多く、「初めて聞いたが、共感し勉強になった」というような感想が多かったようです。また、『子どもとメディア関東』の方を中心に、新しいネットワークの動きも複数あるようで、大いに刺激を受けました。

★乳幼児の発達とメディア

- ・乳幼児期の発達に影響を与え、発達を妨げるものとしてメディアをとらえるとき、まず乳幼児の発達を確実にとらえ、その発達には何が必要かを基盤にメディアの影響を考えなければならない。
- ・ここで問題とするのは、乳幼児でも触れることのできるテレビ・ビデオ・DVD・タブレット・スマホ・ゲームなどの電子映像メディアである。
- ・メディアはツール(道具)であって、それ自体の善悪ではなく、メディアが奪う体験や発達を見なければアドバイスはできない。
- ・メディア遮断をするだけで改善する事例もある。(メディアが障害の全要因であるということではない。)
- ・遮断してできた時間を埋める豊かな遊び体験を提供することが重要。

☆こんな子がいたらメディア漬けを疑え

- ① 落ち着けない(多動)、イライラしている
- ② 表情が乏しい、反応が希薄
- ③ 視線が合わない
- ④ ことばが出ない、指さしをしない、オウム返し
- ⑤ 人を叩く・蹴る
- ⑥ 戦いごっこ以外のごっ

こ遊びをしない ⑦親のスマホを求める ⑧テレビ番組やキャラクターの話をしたがる

★背景にあるもの

- ・メディア漬け・・・保護者自身・乳幼児期から
- ・プチ虐待・・・愛着形成不全(親からの言葉が禁止か命令、それが繰り返される中で)
- ・身体の発達不全・・・背筋力低下
- ・脳の不覚醒・・・生活リズム
- ・外遊び、仲間あそびの衰退
- ・時間・空間の短縮・縮小

すなわち、大人社会の歪み

電子映像メディアの遊びは、自分からのインプットが少なくても、多くのアウトプットが得られること→刺激の少ない物をあきてしまう

★親の時代とは明らかに違うメディア環境

- ①複雑化・・・一家にテレビが複数、電話が複数、パソコンが複数
- ②ポータブル化・・・どこにでも、移動しながらでも、個室でも
- ③多重化・・・テレビとスマホ・ケータイとパソコンを同時に、二つのゲームを同時進行
- ④現実世界への侵入・・・VR(仮想現実)からAR(拡張現実)へ(Pokemon Go)
- ⑤キーボードからタッチパネルへ(低年齢化) 赤ちゃんも

★「どうせいずれITに触れるのだから」の罠

- ・ゲーム・タブレットは「視覚刺激」と「聴覚刺激」の混合刺激物
- ・「どうせいつか酒を飲むのだから、幼いうちから飲ませておいた方がいい」と考える人はいません!
- ・低年齢から触れている子どもの方が、依存になる危険性は高い!
- ・幼児期から触れていてどんな人間になるか?は、人体実験中!

★発達課題をとらえ直す

●その時期には発達課題を十分に体験することが必要であって、それが発達を保障することである。

①0歳児の発達課題 「基本的信頼感：私は生きていていいんだ」

《不快→泣く→世話→快→寝→起→不快》

- ・自分は不快を訴えれば、快にしてもらえる存在なのだ=大切にされている自分体験
⇒自尊感情・自己信頼感
- ・自分の周りには、自分の訴えに応じてくれる周囲がある=大切にしてくれる周り体験
⇒人間信頼・他者信頼

②1歳児の発達課題 「発見・感動・伝達・共感：ほら、見て！」

《探索行動→発見→感動→伝達(見て見て行動・指さし)→共感→探索行動・・・

- ・共感が心地よさへ：一緒に喜んでくれる対象⇒好奇心の広がり
- ・メディアからは共感を得られない・・・反応の乏しい乳児・自分から働きかけようとしないうち

●「五感を通して世界をつかまえてゆく」時期

- ・感覚器は自らを心地よくさせるものを求め、それを繰り返し取り入れようとする。
- ・感覚の受容は一定の許容量を持ち、オーバーフローすると感覚遮断が生じる。

- ・感覚過敏の子どもと、その感覚に過剰な刺激が与えられた子どもは類似した症状に陥る。
- 電子映像メディアは、視覚刺激と聴覚刺激の混合刺激物
- ・視覚：動くもの・光るもの・点滅するものに惹きつけられる。突然の変化は危険を知らせる。
- ・聴覚：音程・抑揚・スピード・リズム・効果音は注意をひく。

③2歳児の発達課題 「身体を通して世界をつかまえる：走って転んで」

- 2歳児は『二覚の発達』を保障⇒ 自分の筋肉を試して発達する
- ・前庭覚(平衡感覚)：三半規管を中心とした活動・歩く、跳ぶ、傾く、回る、揺れる、滑る
～ ゆらゆら、グラグラ、おととと！～
- ・固有受容覚：骨を支える筋力を中心とした活動・押す、引く、噛む、持ち上げる、よじ登る
運ぶ、力む、しがみつく

★基本は、「2歳までの子どもにメディアは必要ない！」

- ・しかし、孤立した子育ての中にいる母親にとって、メディアがないと家事が進まない現状も
→ 園が親の居場所として、何が出来る？
- ・何が問題？ なぜ？ そして、何が大切？を押さえておく！
- ①どのようなメディアが要注意？・・・「刺激」が奪う集中など。刺激が強過ぎる→感覚遮断
- ②どのような見せ方が危険？・・・繰り返し視聴など
- ③見せるときには、せめてどのような注意が必要？
- ④見せる前に、体験させておきたいこと。
- ⑤親自身のメディアチェックも・・・ゲームの埋没度

☆「お父さんは、室内大型遊具」← 園からの啓発を

- ・押して、引っ張って、よじ登って、滑り降りて、転がして、下をくぐって
- ・2～3歳児に必要な全身運動の総合遊具

★自閉症と診断された子どもの中に、メディア漬けのために「自閉症様症状」を起こしている子どもがいる。⇒ 目の前の人との関係性が失われることが発達に影響することの理解を。

- ①それを判別するために、まずメディア接種状況を把握する。
- ②メディア漬けが疑われたら、試しにその遮断を提案。
- ③関係性の回復を促す遊びを提案。

☆スマホ社会 (子どもの日常になっているスマホ社会)

- ①子ども達がスマホでやっていること
 - ・スマホゲームは、ギャンブル的要素とつながり依存
 - ・LINE・Twitter・動画をみる・写真動画の投稿(いいね依存)
- ②スマホ所持率の急上昇・・・親のスマホを貸すことのリスク
- ③スマホでなくても危険！ゲーム機なども。 2016年7月より日常にAR(拡張現実)の侵入！

21世紀、人類の最大の依存 ネット・ゲーム依存

- ・ 手に入りやすさは最易
- ・ 接触年齢は最低
- ・ 普及率(使用者母数)は最高値
- ・ 脳の破壊危険性は薬物なみ
- ・ その危険性認知は最貧！

「インターネット・ゲーム依存症」岡田尊司より

★メディア依存（電子映像を伴う情報伝達機器）とは

日常的にメディアを長時間接し、

- ①していないと落ち着かないなどの離脱症状が見られ、
- ②自制できない(減らす約束が守れない)状態。
- ③仮想的人間関係の優位(ネット上の友だちの方が本音と言える)

☆特にスマホは、ネット・ケータイ・ゲームの合体機

「子どもにスマホを買ってやるということは。子ども部屋をゲームセンターに改善するようなもの」

- ・ その中で寝ろ！と言われても寝られない。そこで勉強しろと言われても勉強は無理。
- ・ スマホゲームセンターには、様々な大人も・・カモを探す悪い人も・・相手を探す男女も・・

★ゲーム・スマホを与える前のチェックリストとファミリールール作り

- ・ まず、親が知っておくこと。
ケータイやインターネット、スマホは大人の道具。その向こうにある世界は大人の世界。
⇒親に分かるように説明できない、親と話し合いができないような子どもが持っているものではない。
- ・ 「ゲーム欲しい」「スマホほしい」は、親子のコミュニケーションのチャンス！
「大事なことから、ちゃんと時間を作って話し合おう！」
～ 拒否せず、押し付けない家族のコミュニケーションを ～

☆スマホを手に入れるまでの親子の段階

- ①「時間を作って話そう。それまでに、それがあると何が良いのか？どんなことができるのかを紙に書いて、持ち寄る。」→親子ともに書いたものを提示しながら、子どもは「何ができるか」「どう良いのか」を説明する。これで、子どもがどの程度の知識を持って使いたいと思っているのかを知る。
- ②「それがあると、どんな困ることが起こる可能性があるかデメリットを書く」（参考図書を提示。親以上にデメリットがあげられないなら危険だからスマホを持たせられないと伝える。）
- ③「それぞれのデメリットを回避する方法を書く」（一緒に考えて、全てが回避できたら持っても安全）

★幼児期児童期は、ノーメディアデー

- ・ まず、月に(週に)一日。→ 朝から寝るまでテレビ・ビデオ・テレビゲーム等の電子映像メディアに接しない日を作ろう！
- ・ 目的は、見ないことではなく、ゲームやテレビがなくても自分は大丈夫と思える子ども。
- 「自己コントロール感」が、脱・メディア依存のキーワード

☆「NPO子どもとメディア」のこれまでの調査結果： メディア依存の子どもの傾向

- ①自己表現が苦手
- ②コミュニケーションが苦手
- ③家族関係が希薄

改善の手だてを！

応援しにいきませんか？

「子どもとメディア北海道」会員の真如智子さんが、

12月16日(土)に札幌市の北海きたえーるで開催される

『早寝早起き朝ごはんフォーラム in ほっかいどう』で事例発表します！！

★情報誌27号にも寄稿してもらった、オホーツク管内佐呂間町在住の真如さんが、同封したフォーラムの事例発表者に抜擢されました。真如さんは、古くから読み聞かせの活動や地域の社会教育委員として力を尽くされてきた方で、とっても笑顔の素敵な女性です。

☆今回のフォーラムで基調講演される お茶の水女子大学名誉教授の榊原洋一氏は、Eテレ「すくすく子育て」などでもお馴染みの著名な方です。基調講演も楽しみです。ただ老婆心ながら気がかりなのは、榊原先生は、乳幼児の電子映像メディアの使用については、どちらかというところ「効果的に使用しましょう」という立場なので、北海道の子育て中の親御さんたちへのメッセージとしては、文字通りで伝わると少々心配です。

★12月というそれぞれの立場でお忙しい時期と思いますが、もし可能なら参加されませんか？今回は、チラシと申込用紙を両方同封しましたので、個人でお申込みいただけたらと思います。さしつかえなければ、申込書の所属の所に「子どもとメディア北海道会員」と記載いただけると嬉しいです。

☆また参加される方は、お手数でも中谷まで一報いただけますか？私も今のところ参加できる予定なので、フォーラムに参加後に、夕食でもとりながら交流しませんか？(思いつきでスミマセン)

中谷090-3773-8349 メール：michie-n@plum.plala.or.jp

『子どもとメディア全国ネットワーク』について

・前回の情報誌で紹介した上記のネットワークですが、NPO子どもとメディア(福岡)の総会でも報告され、ゆるやかなネットワークづくりが始まりました。

・今回同封した『子どもとメディア全国ネットワーク メルマガ会員募集』のチラシをご覧ください。メールマガジンの会員になるのが一番気軽になれるかも……。無料ですから、登録することをお勧めします。月に1回程度のメールマガジンが届くそうです。

H29年8月からの活動報告

月日	テーマ・内容	行事名・主催者等	担当
8月20日	ネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着に向けて ~今、子どもたちのために何をすべきか~	檜山PTA連合会研究大会・母親研修会(乙部町)	諏訪
8月25日	当麻小学校5・6年生講話		中谷
	当麻小学校PTA研修会		

9月 2日	電子メディアと子どもの発達	「子どもの学力・生活習慣改善研修会」士別市中央公民館家庭教育推進事業 子どもとメディアとの関係を考える集い	諏訪
	子どもの生きる力と大人の社会力	伊達市PTA連合会研究大会	中谷
9月 4日	安平町「いじめのこども会議」	安平町教育委員会	中谷
9月12日	今金中学校生徒と保護者向け講話		中谷
9月15日	国の子保育園(八雲町)保護者と保育士向け		中谷
9月16日	渡島母と女性教師の会(落部)		中谷
9月19日	別海中央中学校 生徒向け講話 別海町指導者(幼小中合同)		中谷
9月20日	家庭教育ナビゲータースキルアップ研修会(小樽市)		中谷
9月24日	インターネット社会の子ども達へ	紋別市PTA連合会	中谷
9月29日	電子メディアと子どもの発達 子どもの心と体を育てるために大切なこと	富良野市家庭教育講演会	諏訪
	新ひだか町家庭教育学級(静内)		中谷
	新ひだか町提案型職場内研修(静内)		
10月4日	子育て研修会 in 空知(空知教育局・ネイパル砂川)		中谷
10月5日	早北中学校生徒向け講話		中谷
10月7日	北海道保育問題研究会全道集会(苫小牧市)		中谷
10月18日	情報モラル講演会	江別市PTA連合・教育委員会	中谷
10月19日 20日	別海町内小学校(西春別・上風連・中西別・野付) 高学年向け講話		中谷
10月23日	富川小学校就学児健診時保護者向け講話(日高町教育委員会)		中谷
10月24日	日高小学校就学児健診時保護者向け講話(日高町教育委員会)		中谷
10月26日	子どもの発達への電子メディアの影響	旭川NPOサポートセンター	諏訪
	電子メディアが子どもたちに与える影響 ~子どもの心と体を育てるために大切なこと~	平成29年度 旭川市PTA連合会東部ブロック研修会	諏訪
	厚賀小学校就学児健診時保護者向け講話(日高町教育委員会)		中谷
10月27日	門別小学校就学児健診時保護者向け講話(日高町教育委員会)		中谷
10月28日	電子メディアと子どもの発達 子どもの心と体を育てるために大切なこと	北海道PTA連合会 第2ブロック連絡会	諏訪
	登別幌別小学校児童向け講話(低学年・高学年)		中谷
10月31日	情報モラルに関するシンポジウム	小樽市教育委員会	中谷